令和３年　３月　９日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大学院工学府学務委員会決定

令和３年１１月　８日改正

「工学府研究指導等計画書」及び「工学府研究指導等報告書」の取り扱いについて

工学府学生の教育及び研究指導の充実を図るため，「工学府研究指導等計画書（以下「計画書」という）」及び「工学府研究指導等報告書（以下「報告書」という）」の作成を行い，以下のとおり取り扱うこととする。

１　計画書

（１）主指導教員等は，各学年次開始当初に学生に対して１年間の研究指導計画を明示した上で学生と面談を行い，当該年度１年間の研究予定等について指導を行うものとする。

（２）計画書は学生指導用として適宜活用し，主指導教員等において研究指導終了後５年間保管するものとする。

（３）学務委員長は３月及び９月の大学院学務委員会開催時に計画書の作成について周知を図るものとする。

２　報告書

（１）主指導教員等は，各学年次終了時に，報告書を作成するものとする。

（２）作成時期は３月末日（春季入学者）又は９月末日（秋季入学者）とする。

（３）学務委員長は８月及び２月の大学院学務委員会開催時に報告書の作成について周知を図るものとする。

（４）報告書は学生指導用として適宜活用し，主指導教員等において研究指導終了後５年間保管するものとする。

　附 則

１. この取扱いは，令和３年４月１日から実施する。

２. 「「工学府研究指導計画書」の取り扱いについて（平成２０年３月２６日工学研究科委員会承認）」及び「「教育・研究活動報告書」の取り扱いについて（平成１８年２月１７日大学院学務委員会決定）」は廃止する。

３. この取扱いは，令和３年１１月８日から実施する。

工学府研究指導等計画書（　　 ―　 　）年度

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 課程区分 | □博士前期課程□博士後期課程 | 学生番号 |  | 学生氏名 |  |
| 指導教員 | （主） |
| （副） | （副） |
| （副） | （副） |
| 研究題目等 |  |
| 副専門モジュール | （博士前期課程のみ記入） |
| 年度ごとの研究・科目履修等の計画 Annual plan for research and course registration(１年目/the first year） 　 　 実施日 　　　　年　　月　　日(２年目/ the second year) 実施日 　　　　年　　月　　日(３年目/ the third year) 　 　 実施日 　　　　年　　月　　日 |

(1) 指導教員はこの様式を用いて，学生へ毎年次はじめに１年間の研究指導計画を明示してください。

(2) 指導教員欄

主指導教員のほか，指導教員グループを構成する副指導教員（２名以上）を記入してください。

 (3) 研究題目等欄

① 博士前期課程：修士論文研究題目等を記入してください。

② 博士後期課程：研究題目のほか，必要に応じ，プロジェクト研究題目等を記入してください。

(4) 作成後は指導の記録として各教員において保管してください（研究指導終了後５年間）。

(5) 書式・各項目については，状況に応じて適宜変更してください。（年度毎に作成することも可。）

 工学府研究指導等報告書（　　 ―　 　）年度

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 課程区分 | □博士前期課程□博士後期課程 | 学生番号 |  | 学生氏名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 指導教員 | （主） |
| （副） | （副） |
| （副） | （副） |
| 研究題目等 |  |
| 年度ごとの教育・研究活動及び指導状況 Annual academic progress report(１年目/the first year） 　 　 記入日 　　　　年　　月　　日(２年目/ the second year) 　 記入日 　　　　年　　月　　日(３年目/ the third year) 　 　記入日 　　　　年　　月　　日 |

(1) 指導教員はこの様式を用いて，年次はじめに作成した研究指導等計画書に対する取組状況を確認してください。

(2) 作成後は指導の記録として各教員において保管してください（研究指導終了後５年間）。

(3) 書式・各項目については，状況に応じて適宜変更してください。（年度毎に作成することも可。）